

寺院：福島県第7教区第162番昌建寺
 住所：福島県西白河郡泉崎村大字泉崎字下宿88

寺院の被害	<ul style="list-style-type: none"> ・地震により、本堂、庫裡が一部損壊し、鐘楼堂、山門が全壊した。 ・境内の土木構造物にも被害が生じている。
寺院の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・放射能汚染の影響が少なからずある。寺院所在地にホットスポットが存在しており、行政による除染の実施を予定している。 ・精神的肉体的疲労を抱えている。 ・放射線被ばくへの対策に留意しながらの生活となった。
檀信徒の現状	<ul style="list-style-type: none"> ・檀信徒の半数以上が農業を生業としており、風評被害に苦しんでいる。 ・避難している檀信徒はほとんどいないが、それでも避難転居を理由に数軒が離檀した。
地域の現状	—
復興の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・震災直後から、檀信徒宅での月参りを開始した。現在は軌道に乗り檀信徒から喜ばれている。 ・周囲の檀信徒宅も被災しているため、しばらく復興の話もせず、機が熟すのを待つ決断をして今日に至っている。震災物故者の三回忌を迎えた今年、お寺の役員と今後の方針を議論したいと考えている。 ・山門は全壊状態だったため、足場だけを残して解体整備した。今後の対応を思案中である。 ・寺院の復旧は自力ではかなり難しい。山門、鐘楼堂の復旧はどうしても勧募に頼らざるを得ないが、檀信徒も被災しており、なかなか勧募に踏み切れない。庫裡、客殿、境内地の修復に法人会計を使用したため、財源の乏しい現実がある。 ・復旧の計画はできているが未着手である。10年以内の復旧を目指している。

(H25. 8. 2 現在)



現在の鐘楼堂と山門の状況。鐘楼堂は鐘だけを、山門は足場だけを残して整備した。併せて普請したいと考えているが、経済的な問題により手が回らない。(撮影日不明)